

リグニンネットワーク 公開シンポジウム

地域リグニン資源のニュービジネス

環境適合性とSDGsへの貢献

2020年1月20日(月) 13:20~

AP虎ノ門 Aルーム



東京都港区西新橋1-6-15 NS虎ノ門ビル（日本酒造虎ノ門ビル）11F

- <紹介> 「改質リグニン」の開発と地域資源  
(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所  
新素材研究拠点長、リグニンネットワーク代表 山田竜彦
- <紹介> 新素材「改質リグニン」の製品展開  
(国研)産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門  
首席研究員、Clayteam会長 蛭名武雄
- <講演> SDGs達成に貢献する森林バイオマス  
名古屋大学 大学院 生命農学研究科 教授 福島和彦
- <紹介> 国産森林資源「佐伯型循環林業の取り組み」  
佐伯広域森林組合 代表理事 組合長 戸高壽生
- <講演> 海洋プラスチックゴミ問題解決のための生分解性  
バイオマス樹脂のISO国際標準化動向  
(国研)産業技術総合研究所 イノベーション推進本部 審議役 国岡正雄
- <総合討論> 持続可能な開発目標と国産資源のニュービジネス

参加無料 事前登録制

参加登録方法:

下記メールアドレス宛に

①氏名 ②所属 をご連絡ください。

\*お申し込み者多数で締め切る場合がありますので御了承ください。

[lignin-net@ml.affrc.go.jp](mailto:lignin-net@ml.affrc.go.jp)

日本の地域資源であるスギを活用して製造される新素材「改質リグニン」への期待が高まっています。改質リグニンを用いた製品は、高い強度や耐熱性を持つと同時に、廃棄時には、自然の中で分解される可能性もあり、環境適合性の観点からも注目されています。改質リグニンの開発を取り巻く状況を整理し、地域資源を用いたニュービジネスの形を提案すると共に、そのSDGsへの貢献など改質リグニンの可能性を議論します。